



みずほ 体協だより

特定非営利活動法人
瑞穂町体育協会
〒190-1211
東京都西多摩郡瑞穂町石畑1989
瑞穂中央体育館内
TEL: (042) 557-7098
FAX: (042) 557-6091
E-mail: mi.zuhotaikyo@bz03.plala.or.jp
発行責任者 石山正志



体育協会石山会長挨拶



来賓挨拶する杉浦瑞穂町長

監監副理事長
副理事長
副理事長
副理事長
副理事長
会長
佐子前常務理事、陸上競技クラブ雨宮信秋前会長に体育協会功労賞が授与されました。

西村中川寺崎牧野石山神山正壽修正志和順夫和義夫次義

**令和4年度瑞穂町
体育協会役員**

令和4年度瑞穂町体育協会定期総会が令和4年5月27日(金)に瑞穂スカイホール小ホールにおいて、新型コロナウィルス感染の拡大防止を考慮して構成人数を削減した形式で3年ぶりに参集型で開催しました。総会では議長に空手道連盟の福島政夫理事、総会書記に鈴木昭弘常務理事、議事録署名人に岸野勉常務理事、バドミントン連盟の柳澤博幸理事を選出しました。

審議事項は、①令和3年度体協事業報告、②令和3年度歳入歳出収支決算報告及び決算監査報告、③令和4年度・5年度体協理事の選出、④令和4年度事業計画案、⑤令和4年度歳入歳出予算案であり、決議者102名中99名(欠席者3名)から全ての議案に対し同意する旨の意思表示が示され承認決定されました。

このあと第1回理事会が開催され、体育協会会長・副会長・理事長・副理事長・監事2名の選出審議が行われ、左記役員の再任が決定されました。三期目となる石山正志会長は「スポーツを通じた絆と友愛を育むとともに、瑞穂町民の健康維持増進に貢献する所存である(詳細は下記別掲)」と挨拶しました。

引き続いて、瑞穂町体育協会の事業推進に貢献された近藤ミネ子前常務理事、山崎美佐子前常務理事、陸上競技クラブ雨宮信秋前会長に体育協会功労賞が授与されました。来賓としてご出席いただいた杉浦裕之瑞穂町長、古宮郁夫瑞穂町議会議長にご挨拶をいたさ、最後に寺崎和夫副理事長より閉会の辞が述べられて、滞りなく令和4年度の定期総会が終了しました。

三期目の会長に選出して頂いたことに、責任の重大さを従来にも増して痛感しております、スポーツを通じた絆と友愛を育むとともに、瑞穂町民の健康維持増進に貢献する所存であります。

前期の二年間は新型コロナウィルスの感染拡大により体協事業のほとんどが中止や縮小を余儀なくされ、東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックも無観客での開催となりました。現在も感染は予断を許さない状況にあります。が、唯一の明るい話題は、大谷翔平選手の大リーグでの大活躍でしょうか!この状況下においてもスポーツ振興のため感染拡大防止に万全を期して事業推進にご尽力された体協加盟各団体各位のご協力に感謝申し上げます。

令和4年度の体協事業を進めるにあたってその基本を「ふれあい支え合いを大切にして、活力ある体協事業を推進する」に置いて、それを基盤に「スポーツ活動による健康で活力ある瑞穂町を創る」を目指したいと思います。残念ながら小学生スキー教室は今年度より廃止となります。がこれまで体育協会が推進してきたジュニア世代からシニア世代までの「町民皆スポーツ」を達成するため、努力してまいります。

各団体の皆様は非常に忙しい中、所属団体の活動と体育協会の活動に奉仕の精神でご尽力を頂いており、また、体協活動を財政面で支えて頂いている賛助会員の皆様、更には同志的連携で協力を頂いている行政の皆様にこころより感謝申し上げます。



瑞穂町体育協会
会長 石山正志

絆と友愛を育む体協活動を!

第49回瑞穂町総合体育大会開会式



第49回総合体育大会開会式



各競技選手団



優勝杯返還

令和4年9月3日(土)午後7時から第49回瑞穂町総合体育大会開会式が瑞穂スライホール小ホールで開催されました。

開会式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各団体選手団を4名までとし、縮小して開催しました。大会副実行委員長の神山副会長の開式通告で始まり、大会会長・副会長・実行委員長等の紹介の後、競技を主管する団体が紹介されました。

瑞穂町総合体育大会は令和4年8月の水泳競技を皮切りに、令和5年3月のスキーカーリング(菅平高原スキー場で実施予定)まで瑞穂町の町内各施設で8ヶ月にわたって20競技130種目約2千300名で争われます。

大会副会長の古宮町議会議長の開会宣言のあと国歌・町歌を默唱し、今年は優勝杯返還を、全競技種目を代表して陸上競技の優勝杯を中垣富雄さんが行いました。引き続き大会会長の杉浦瑞穂町長が「日頃の練習の成果を遺憾なく発揮して頑張って下さい」と挨拶、続いて、大会実行委員長の石山体育協会会长が「怪我やコロナ感染には十分注意して、思う存分競技して欲しい」と挨拶がありました。選手宣誓はバドミントン連盟の西村和宏さんが力強く「正々堂々とお互いを尊重し合い力いっぱい闘います」と声高らかに行いました。続いて、大会賛歌の「若い力」を出席者全員で默唱し、最後に大会副会長の鳥海教育長の閉式通告により開会式は閉会となりました。

開会式後は、各競技の熱戦が繰り広げられます。

第49回瑞穂町総合体育大会水泳競技



ウォーミングアップ



石山競技委員長諸注意



水飛沫を上げて力泳



最後のデットヒート

令和4年8月7日(日)に第49回瑞穂町総合体育大会水泳競技が瑞穂町営プールで開催されました。

コロナウイルス感染防止の観点から小学生・中学生のみの大会として、熱中症対策にも十分配意して開催しました。小学生の部に50人、中学生の部に7人が参加して競われました。競技時間短縮のため予選を実施しないタイムレースとしましたが、各選手懸命に力泳しました。日頃の成果を遺憾なく発揮しました。なお、当日は表彰式は行わず、各学校で表彰状授与が行われました。

◇加盟団体紹介◇

各号では体育協会加盟22団体の紹介を行います。今回は3団体の活動状況について紹介します。

サッカー連盟

サッカー連盟に加盟しているチーム数は現在小學生の部3チーム、中學生の部1チーム、一般の部8チームで会員総数が400名になります。

連盟活動としては、瑞穂町総合体育大会の小学生の部、中學生の部、一般の部の大会の実施運営を始め、東京都体育協会が主催するジュニア育成地域推進事業では小学生・中學生のチームから選抜した選手の強化育成も実施しています。さらに各チームでは様々な大会に出場するなど、独自の活動も積極的に実施しています。

一般の部による瑞穂リーグは、年間を通して開催しており今年度は6チームで実施しています。

また東京都大会や西多摩広域行政圏体育大会へもチームを派遣しています。

サッカー連盟としての今後の課題は少子化による会員数の減少です。小学生の部3チームでは練習や対外試合など積極的に活動していますので、興味のある方は少年サッカー場や三小、四小、五小の校庭に足を運んでみてください。



剣道連盟

剣道連盟は昭和37年体育協会発足時から、発足四団体の一つとして活動しており、昭和43年には、第1回町民剣道大会を開催しております。昭和44年には、小学生剣道教室を瑞穂中学校体育館で開催し、底辺の拡大を目指しました。昭和45年には第一小学校に滝澤福一先生が着任して剣道部を作り、一時は、100名を越す小学生が剣道の修行をしていました。その参加者がやがて中學生、高校生、大学生となり、大変活躍しております。関東大会や全国大会に出場する選手が現れ、瑞穂町や瑞穂中学校剣道部の名が知れ渡りました。

現在概ね50名の会員を有しております、活動としては、瑞穂町民剣道大会、少年剣道育成事業を実施し、9月に総合体育大会剣道競技を主管しています。秋には、連盟最大事業である、瑞穂町少年剣道大会を近隣の剣道団体を招待して開催し、令和4年で第36回を迎めます。また年間を通して、少年剣道教室を週3日開催し、剣道普及の事業実施や近隣剣道大会に参加するなど、強化を図っています。指導員においては、稽古会や剣道大会へ参加し、技術向上に努めています。



卓球連盟

戦後いち早くこの町では野球と卓球が盛んになり、昭和23年に石川光寿氏を会長として「卓球協会」が発足しました。昭和37年に「瑞穂町体育協会」が発足されると卓球協会はその加盟団体となりました。当初の加盟は野球、剣道、庭球、卓球の4団体のみでした。昭和40年代後半から50年代になると、瑞穂中、瑞穂二中の卓球部が関東大会・全国大会に出場するようになり、高校、大学へ進んだ選手の中から全国でも活躍する優秀な選手が続出しました。このころ町の卓球技術はさらに向上し瑞穂町卓球連盟の全盛期となります。現在は、毎週月曜日19時から中央体育館で定期練習しており、中學生の夏季合宿やシニア卓球教室なども開催し、ジュニアからシニアまでのレベルアップを図りつつ活動の盛り上げに努めております。今後の展望としては、活気のある卓球連盟が末永く続くよう会員数を増やし、各年代の活動強化を図っていきます。



第13回残堀川ふれあいウォーキング



狭山丘陵ウォーキング



残堀川ウォーキング

令和4年5月22日(日)に瑞穂町主催の第13回残堀川ふれあいウォーキングが開催され、約140人が参加しました。今回は新型コロナウィルスの感染拡大を防止するため、参加人数を絞ったネット予約での申し込みとし、コースも若干短縮して実施されました。

瑞穂ピューパーク競技場において午前9時から開会式が開催され、杉浦瑞穂町長、古宮町議会議長の挨拶の後、準備運動を行つてウォーキングがスタートしました。

当日は晴天に恵まれて絶好のウォーキング日となりましたが、前日の雨で少しぬかるんだ道中となりました。若干起伏のある新緑の山道を歩いて石畳公園に向かい、玉林寺公園から残堀川沿いに歩く約5kmの道のりを約2時間かけて狭山池公園まで歩きました。途中、残堀川には鯉のぼりが掛けられ、春の風を受けて気持ちよく揺らいでいました。

到着の狭山池公園では、花のプレゼントもあり、春を満喫したウォーキングが終りました。

令和4年6月19日(日)午前9時30分から第42回瑞穂町ふれあい運動会が開催されました。この運動会は身体・知的・精神に障がいのある方と健常者が一緒になってスポーツを楽しむイベントで、社会福祉協議会・スポーツ推進委員協議会・民生委員・児童委員協議会・手話サークル等の協力を得ながら実施するものです。3年ぶりとなる今回は、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から密集を避けるため、競技を3種目に絞つて、さらに午前の部と午後の部に分割し、また、初めての試みとしてWeb参加も可能として多元中継も行いました。

杉浦瑞穂町長、古宮町議会議長のビデオ挨拶の後、手話サークル「もみじ」の先導による準備体操を行い、「ダイナミックリズム」「ボッチャ」「フロアーホッケー」の競技が行われ、各競技とも熱戦が繰り広げられました。

従来お昼には豚汁、焼きそばが振舞われ参加者全員が一緒に和気藹々と食事しましたが、今回はコロナ感染と熱中症防止のため飲み物が提供されました。

最後に、瑞穂町体育協会石山会長が講評を行つて、滞りなく終了しました。



ボッチャ競技



フロアーホッケーリレー競技

救急救命・AED操作講習会



講習会座学



心肺蘇生の講習

令和4年6月18日と6月25日の二日間に亘り救急救命・AED操作講習会が瑞穂中央体育館で福生消防署・東京防災救急協会から講師をお招きして実施され、体協加盟各団体・スポーツ推進委員協議会から合計59名の参加がありました。

この講習会は救命技能認定証の有効期間の3年に合わせて実施しており、今回は新型コロナウィルス感染拡大防止と消防署の指導に基いて密集を避けるため2回に分けて実施しました。講習会開催にあたり福生消防署より9月9日の救急の日に表彰を受けます。

座学では救命措置の重要性について、特に救急車が現場に到着するまでに如何に救命処置（心肺蘇生・AEDによる除細動）が必要かを学び、また実技では、胸骨圧迫の仕方、AEDの電極パッドの貼り方などの操作方法を学習しました。

運動中などに発生する不測の事態に備えるため、参加者は積極的に質問するなど真剣に受講しました。

令和4年度 賛助会員ご芳名

(順不同)

| 殿ヶ谷地区 | 木下邦彦 | 小川峰義 |
|--------------------|---------------|--------------------------|
| ㈱IHI瑞穂工場 | 坂田耕輝 | 川井幸一 |
| 榎本土建㈱榎本長司 | 高水弘侑 | 栗原孝二 |
| ㈱貴勝 | 中川順夫 | タマサービスふくや 黒崎修三 |
| 佐藤産業㈱ | 古川久子 | 小博光男 |
| トヨタ西東京カローラ㈱店 瑞穂 | 吉岡建雄 | 小山良一 |
| ㈱やまそう アンジェリーカ | 渡辺保 | 島崎隆太郎 |
| カートータルショッブ㈱ | 箱根ヶ崎地区 | 下田喜一 |
| ㈲信和工業社 | ㈱天野商事 | 寺崎和夫 |
| 介護老人保健施設菜の花 | 榎本工業㈱ | 徳永道子 |
| 金龍館道場 | ㈱大正電設 | 西村電機商会 西村和宏 |
| やきゅううま 柴田博之 | ㈱ミズホライン | 根岸武治 |
| 池和田忠明 | 青梅信用金庫瑞穂支店 | 福島政夫 |
| 池和田政一 | 西武信用金庫瑞穂支店 | 堀のり子 |
| 石川智 | 多摩信用金庫瑞穂支店 | 吉野一夫 |
| 石塚正治 | 西多摩農業協同組合 | 渡邊政則 |
| 井上育雄 | ㈲井上電気工事 | 長岡地区 |
| 榎本喜一 | ㈲イノマタ燃料 | 多摩電業㈱ |
| 尾作武夫 | ㈲ジョイタイムはらしま | ㈱富山 |
| 尾作辰男 | ㈲誠電社 福泉晴雄 | ネツツトヨタ多摩㈱ 物流セントタ |
| 鳥海勝男 | ㈲西久保酒店 西久保記三代 | ㈱ヒラサワ |
| 鳥海孝 | ㈲山崎清掃 | ㈲アスクキープ |
| 牧野壽義 | 圓福寺 | 天沼製作所 |
| 守重政孝 | 小泉接骨院 | 梅田園芸 |
| 石畑地区 | こやまクリーニング | 佐々木クリーニング |
| 瑞穂町商工会 | たかはしや | 清木牧場 ウェストランドファームジェラート |
| ㈲吉岡園 | 東京瑞穂ライオンズクラブ | 中垣園芸 |
| ㈲吉岡自動車 | 美容室トムソーヤ | 川鍋悦子 |
| さしだ家 | 如意輪幼稚園 | 岸野勉 |
| 清水瓦工事店 | パレット | 近藤保 |
| 鈴木建具店 | ヘアーサロンムラヤマ | 笹井鎮彦 |
| 高水酒店 | ミカモ美容室 | 中垣吉男 |
| ときわ会 | ミズホスポーツ | 長澤秀昭 |
| 鳥海自動車工業 | 吉岡金物店 | 山崎美佐子 |
| 瑞穂町社会福祉協議会 | 吉野自動車 | |
| ロンズカフエ | 池田幸子 | |
| 相川聰子 | 石井正次 | |

| | | |
|---------------------------|-----------|-----------|
| 元 狹 山 地 区 | 森 田 ま ゆ み | 岡 田 弘 喜 |
| 奥 多 摩 工 業 株 | 吉 岡 茂 雄 | 古 川 実 |
| 有 い ト 一 プ レ ス | 町 関 係 者 | 長 谷 部 康 行 |
| 関 根 建 設 | 栗 原 裕 之 | 吉 野 久 |
| 竹 島 フ ァ ク ト リ ー 竹 島 久 雄 | 鳥 海 俊 身 | 大 澤 達 哉 |
| フ ァ ミ リ ー マ ー ト 瑞 穂 駒 形 店 | 大 井 克 己 | 小 熊 克 也 |
| 梶 川 一 三 雄 | 野 口 英 雄 | 稻 富 泰 輝 |
| 神 山 修 | 亀 山 淳 | 佐 久 間 裕 之 |
| 関 洋 一 | 福 島 由 子 | 町 田 陽 生 |
| 田 辺 恵 一 | 横 沢 真 | 橋 本 正 志 |
| 豆 田 登 久 志 | 小 峰 芳 行 | 友 野 裕 之 |
| 森 田 哲 雄 | 村 野 隆 夫 | |
| む さ し 野 地 区 | 宮 坂 勝 利 | |
| 秋 山 鉄 工 | 田 辺 健 | |
| お じ や れ | 目 黒 克 己 | |
| 寿 し 益 | 小 作 正 人 | |
| 石 山 親 子 | 森 田 富 士 夫 | |
| 石 山 正 志 | 山 内 一 寿 | |
| 猪 野 賢 | 小 野 基 光 | |
| 奥 富 将 雄 | 峯 岸 清 | |
| 上 遠 野 茂 | 田 島 等 | |
| 小 久 保 浩 子 | 田 野 太 郁 哉 | |
| 小 松 揚 明 | 石 川 修 | |
| 小 松 達 夫 | 並 木 照 子 | |
| 佐 藤 喎 良 | 工 藤 洋 介 | |
| 高 橋 幸 次 | 水 村 探 太 郎 | |
| 谷 山 聖 哉 | 中 島 和 輝 | |
| 望 月 隆 政 | 村 山 俊 彰 | |

昨年度も貴重な賛助会費を頂き、心より御礼申し上げます。

コロナ感染拡大防止に万全の対策を取つて、定期総会や水泳大会など各種のイベントが3年ぶりに開催され、体協だよりも従来のペース数で発行することができました。本号が発行される頃には、瑞穂町の各所で総合体育大会の各競技の熱戦が繰り広げられております。

スポーツによる健康の維持増進と仲間作りに少しでも貢献できるよう努力したいと思つております。

(広報委員長 石井 正次)

編集後記

本協会の運営経費は町からの補助金・委託金、加盟団体会費、独自の事業収入、賛助会費によつて賄われております。特に賛助会費は瑞穂町等にお住まいの多くの方からご協力を頂いております。

近年はコロナ禍の中で振込を中心としたお願いにしておりますが、大変多くの方からご協力を頂き感謝申し上げます。一人でも多くの方が本協会の賛助会員に加入して下さることをお願い申し上げます。

● 賛助会費 (年間)

一口一、〇〇〇円で一口以上をお願いいたします。